

かやっ子



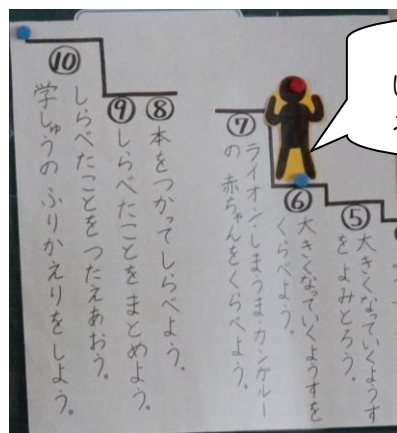
与謝野町立加悦小学校 研究推進委員会
令和4年2月10日号
自ら考え、関わり、挑戦する児童の育成
～言葉を通した確かな学び～



1年国語「どうぶつの赤ちゃん」

先週、1年1組で研究授業を行いました。この学習では、「生まれたとき、ライオンは〇〇だけど、しまうまは□□というところが違うな。」「大きくなるとき、ライオンは・・・、しまうまは・・・。」など、それぞれの「生まれたときの様子」「大きくなる様子」という2つの視点で比べて読みます。ライオンとしまうまの赤ちゃんの、それぞれの様子を読み取るだけでなく比べて読むということにチャレンジです。

この学びを生かして、次はカンガルーの赤ちゃんについて比べ読みをし、その後、自分の調べたい動物の赤ちゃんについて調べます。そして調べて分かったことをまとめ、2年生に向けて発表します。学んだことを2年生に聞いてもらうというゴールを目指し、1年生も頑張っています！！



どのように学習を進めていくのか、見て分かるようにしています。今日はこんな学習をするんだな、こんなことができるようになるんだな、という見通しがもてます。

ライオンとしまうまの赤ちゃんの、歩く様子やえさの取り方等を比べて読んでいます。比べることで、違いがはっきりします。

歩く様子やえさの取り方等、文章から読み取ったことを表にまとめていきます。子どもたちもワークシートに書き込みます。



1年生なりに、比べて読むことの良さに気付いています。



ライオンはなんでもできるとおもっていたけど、しまうまのほうがいろいろできるとわかりました。

しまうまの赤ちゃんが、おかあさんそっくりなことが、くらべてわかりました。



3学期「進級パワーアップ週間（2月24日～3月2日）」に向けて

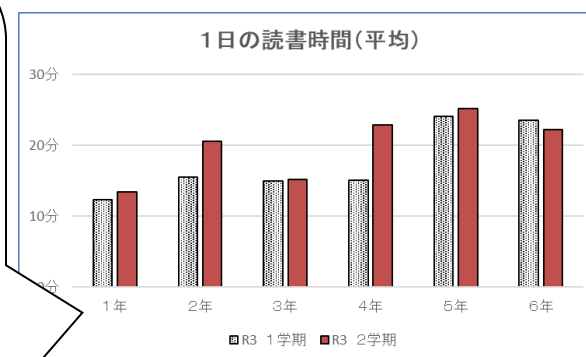
3学期の「家庭学習がんばり週間」は、次の学年に向けての準備を意識し、今の学年の学習をしっかり身に付けよう！ということで「進級パワーアップ週間」として取り組みます。

保護者の皆様のアンケートから、「子どもたちは家庭学習の習慣がついている」が約7割という結果でした。言われなくても、もっと進んで学習してほしい、ということなのかと推測します。

進んで学習するためには、見通しをもつことが必要です。高学年になると、「□日は〇〇のテストがあるから、復習してノートにまとめておこう。」、中学年だと、「今日は〇〇の学習で分からないところがあったから、自主学習でもう一度やってみよう。」など、学習内容を考えることも、学習への見通しになります。また、「今日は習い事があるから、帰ったら少しでも宿題をやっておこう。」「明日は見たい番組があるから、□□の宿題は〇時には終わらせておこう。」など、生活時間のやりくりも見通しの一つです。

それぞれの生活があるので、いつ、どんな家庭学習をするのか、各家庭で話していただき、「進級パワーアップ週間」に臨んでいただきたいと思います。

保護者アンケートによると、「子どもは読書に親しんでいる」が約5割という低い結果でした。日頃は読書ができていないかもしれませんが、図書委員の子どもたちの様子を見ると、おすすめの本を選ぶときには、「僕は〇〇（本の名前）が好きなんだ。」「〇〇の本はどこにあったかなあ。」と言いながら本を探していました。その子なりの気に入った本があって、それを人に勧めようと思うということは、本の魅力を知っているということだと思います。読書は楽しい！この本おもしろい！から始めたいものです。



「しゃきしゃき」「ぱりぱり」文作り

前回の「かやっ子」でご紹介した文作りに、たくさんのご家庭でチャレンジしていただきました。すぐに返していただける皆様のお気持ちに、心が温くなりました。いくつかをご紹介します。

しゃきしゃきのキャベツを食べる。(1年親子)
ぱりぱりしたつけものをたべる。(1年親子)
ポテトチップスがぱりぱりしている。(2年親子)
しゃきしゃきのやさしいためを作る。(2年親子)
薄氷をぱりぱりと踏む。(2年親子)
水たまりの氷をぱりぱり割る。(4年親子)

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

